

4. 学位論文作成マニュアル

北海道医療大学大学院看護福祉学研究科看護学専攻における学位論文の書式は、原則として「APA論文作成マニュアル」^{註)}に準拠することとする。

以下に、手引きとして簡易的にその要点を示し、論文作成の指標とする。なお、臨床福祉学専攻における学位論文の書式は日本社会福祉学会が発行する学術誌「社会福祉学」に準じる。

1. 論文の体裁

「学位論文の作成様式」を参照すること。

2. 論文の構成と表記方法

論文の構成は、基本的には「緒言(序論)」「文献検討」「研究目的」「研究方法(対象、データ収集方法、分析方法、倫理的配慮など)」「結果」「考察」「結論」「謝辞」「文献」「図表(資料)」とする。

見出しは、大見出しから小見出しⅠ Ⅱ → 1 2 → 1) 2) →(1) (2) の順に使用する。

3. 執筆要領

- 1) 文章は明瞭簡潔にする。日本語は常用漢字、現代仮名づかいを用いる。
- 2) 句読点は、日本語、英語ともに、コンマ(,)とピリオド(.)を使用する。
- 3) 片仮名は、動植物の名前、日本語化した外国語を表すときに用いる。
- 4) 数字は、特別な場合を除き、算用数字を用いる。
- 5) 略語は、一般的に用いられているものに限る。とくに必要な場合は、初出のときに原語と日本語の訳語を示す。
 - (1) 原名が日本語の場合は、初出のときに原名の後ろを括弧でくくって略語をつける。

<例>日本看護協会(以下、日看協と略す)

原名が日本語でない場合は、初出のときに日本語訳の後ろに(原名:以下、○○と略す)として略語をつける。

<例>筋萎縮性側索硬化症(amyotrophic lateral sclerosis:以下、ALSと略す)
 - (2) 略語には大文字を用いる。字間をあけたりピリオドをつける必要はない。ただし、ピリオドをつけた形での使用が慣習になっている場合には、慣習どおりの形で用いる。

註) アメリカ心理学会(APA)著(2011)/前田樹海,江藤裕之,田中建彦訳(2011).APA論文作成マニュアル第2版.医学書院(American Psychological Association(2011).Publication Manual of the American Psychological Association, Sixth Edition,American Psychological Association,Washingon,DC.)

4. 本文中の文献の示し方

1) 本文中に文献を引用する場合は、APA論文作成マニュアルを参考に、次のように示す。項

目	示し方・例示
●単独著者	文頭の場合 伊藤 (1996) によれば・・・, Gibson (1969) は, …… 文末の場合 ……と述べている (伊藤, 1996). ……という (Gibso,1969).
●複数著者 (1) 2人の著者	その文献を本文中で引用するたびに、常に両方の著者名を表記する。 2人の著者間は、日本語は中黒「・」、英語の本文中は and、() 内表記は&で結ぶ。 佐藤・森 (2002) は・・・, Hall and Buckwalter (1987) は・・・, … (佐藤・森, 2002). … (Hall & Buckwalter,1987).
(2) 3~5人の著者	初出の際は、すべての著者名を表記する。 2度目以降は、第1著者の姓を書き、日本語は「他」、英語は「et al.」を付ける。 田中・橋本・小泉 (1996) は, …… Ide, McDougall, and Wykle (1999)は… しかし、田中他 (1996) は, …… また Ide et al.(1999)は, ……
(3) 6人以上の著者	第1著者の姓だけを引用して、日本語は「他」、英語は「et al.」を付ける。
※上記(2)(3)の例外: 2つの文献が同じ出版年で、短縮形にすると区別できなくなる場合	筆頭者およびそれに続く著者たちの姓を、2つの文献が区別できるまで引用したのち、コンマを打って、日本語は「他」、英語は「et al.」を付ける。 × Gottfries et al.(1982)とGottfries et al.(1982)は… ○ Gottfries,Bråin and Steen(1998)とGottfries, Bråin, Gullberg, et al.(1998)は…
●同姓の著者	同姓の著者がいる場合は、発行年が異なっても、日本語は名前を、英語は名前のイニシャルを添える。 池田勇人 (2003) は…、池田大作 (2004) は… R. D. Luce (1959) and P. A. Luce (1986) also found…
●同じ括弧内の引用文献の順序	<本文中の同一箇所で行くつかの文献を引用するとき>
(1)異なる著者による複数の文献	第1著者の姓のアルファベット順で文献を並べ、セミコロンで文献を区切る。 … (Athlin & Norberg, 1987 ; Van Ort & Phillips, 1992 ; 山田, 2002).
(2)同一著者による複数の文献	発行年が異なる場合 発行年順に並べる。(Smith, 1989, 1994, 1999) 発行年が同一の場合 タイトル(論題、章、書名)のアルファベット順に並べ、発行年のあとに接尾辞 a,b,c,…を付け、コンマで区切って記す。 (Smith, 1998a, 1998b, 1998c)
●翻訳書	原典が入手困難なため翻訳書を引用する場合は、次のように記す。 Ward (1995, 阿保・田崎・岡田・佐久間訳, 2003) は, …… …「ゲームプラン」(Ward, 1995 阿保他訳, 2003, p.58)の背景には, ……
●団体や機関が著者の場合	著者が団体(研究グループなど)や機関の場合の名称は、通常略さずに記す。ただし、団体(例えば協会、政府機関など)によっては、2回目以降に略すものがある。 初出時 (National Institute of Mental Health [NIMH],1999) 2回目以降 (NIMH, 1999)

2) 本文中に文章を引用する場合は、次のように行う。

(1) 引用は出典から正確・厳密に引用する。

引用は恣意的に行われてはならない。内容の改変・変造はもちろん、故意に前後の文脈を無視した引用も不正となる。出典の文章中に明らかな誤字や誤植があった場合でも、そのまま引用する。その時、自分が誤

って誤字・誤植を犯したのではないことを示すために、(マ)という符号をつける。「マ」は半角で書くのが通常である。英語の引用文の場合、[sic]と書く。

<例>「やっと、今日の午後に源稿 (マ) が完成した」。

Direct quotations must be accurated[sic]. Except as noted in these sections,

(2) 論文中では、以下のように引用する。

日本語では、引用した文章は一重カギ括弧「 」で囲み、引用文中の引用や括弧付きの文は二重カギ括弧『 』で囲む。

英語では、引用をdouble quotation “ ” で囲み、引用文中の引用をsingle quotation ‘ ’ で囲む。

(3) 引用文には、著者の姓、刊行年次、所載ページを書き添える。

<例1>右田(1984)は「地域福祉に名を借りた、政策対応にみられる問題点」(p. 1)を指摘する。

<例2>つまり、これが「社会関係の二重構造」(岡村, 1983, p. 84)である。

(4) 引用文の一部あるいは前後を省略する場合には、全角ピリオドを3つ並べる。

<例>「論文において著者は、提出された問題に解答を与え…結論づけなくてはならない。」

5. インタビュー・データの示し方

インタビュー・データの示し方として、文章の意味が通じるように質問内容や言葉を補う、あるいは答えた人の言葉のニュアンスが伝わるように情報を書き加える場合、以下の要領で記載する。

- 1) インタビュー・データ中の引用語句については、『 』で示す。
- 2) インタビュー実施者の質問内容については、『 』で示す。
- 3) インタビューに答えた人の非言語的情報を書き加えるときには(), 何らかの言葉を補うときには[]を使う。
- 4) インタビュー・データの場合、データの一部あるいは前後を省略する場合には、全角ピリオドを3つ並べる。
- 5) 引用語句の末尾には、インタビューに答えた人の記号とトランスクリプトの行数を()内に明記する。

(A, 355-356) ; Aのトランスクリプト355~356行目の引用

<例文>それで、医者をもっと、それを進めてほしいと私たちに言ってきました。『個人的な見解ではないんだ』なんて担当の医者は言っていましたけどね。でも、それはダメだと思って、それを伝えたいですね。『つまり退院を?』 そうそう。だって、それって病院の都合じゃないですか(小声で)。 (間) だからさあ、[病院の側が]なんて思うかだよ。…ま、それだけが問題といえば、問題[かな](笑)。

(A, 355-356)

6. 文献リスト

- 1) 引用した文献は、最後に本文とは別のページに一括しておく。
- 2) 文献の記載方法は、7人までは全著者名を(姓と名の順で)載せる。著者が8人以上の場合には、6人までを列挙した後に省略記号(...)を入れて、最後の著者を記載する。第2行以下の冒頭は全角3文字分あける。
- 3) 文献の並べ方

文献リストは、和文献と欧文献を分けず、著者の姓のアルファベット順に配列する。

- (1) 同姓の第1著者が複数いる場合には、名のアルファベット順に配列する。
- (2) 著者が複数いる場合には、第1著者の姓により、アルファベット順に配列する。
- (3) 同一著者が、単独で発表している文献と、その著者が第1著者として名を連ねている共著の文献とがある場合には、単独発表のものを先にし、次に共著のものを並べる。
- (4) 第1著者が同一で、第2著者が異なるときは、第2著者の姓のアルファベット順にそれらを並べる。第3著者以下も同様である。
- (5) 同一著者の文献がいくつかある場合、あるいは同一配列の著者名による共著の文献がいくつかある場合には、刊行年次の早い(古い)ものから順に並べる。

(6) 同一年次に刊行されたものがいくつかある場合、年次を示す数字の直後に、アルファベット小文字 a,b,c... を付して区別する。

<例>上智紀尾子(1998a). 上智大学における社会福祉教育. 社会福祉学, 36(7), 15-30.

上智紀尾子(1998b). 四谷駅周辺の福祉施設. 四谷界限研究, 5, 20-25.

項目	示し方・例示
●雑誌	著者名(発行西暦年). タイトル. 雑誌名, 巻数(各巻通しページのない場合は号数も記す), 頁-頁.
和文献	<ul style="list-style-type: none"> 第2行以下の冒頭は全角3文字分あける。 <例> 当目雅代(2004). 人工股関節全置換術における入院全患者教育の実施評価. 日本看護科学会誌, 24(2), 3-12.
欧文献	<ul style="list-style-type: none"> 人名は、姓、名、ミドルネームの順に記載する。姓の後にカンマを打ち、名とミドルネームはイニシャルにしてピリオドを打ち、各々半角スペースをあける。 論文タイトルとサブタイトルは、最初の文字のみ大文字にする。 雑誌名、雑誌の巻数はイタリック体にする。なお、号数はイタリック体にしない。 第2行以下の冒頭は半角6文字分あける。 <例> Athlin, E., & Norberg, A. (1987). Interaction between the severely demented patient and his caregiver during feeding: A theoretical model. <i>Scandinavian Journal of Caring Sciences</i> , 1, 117-123.
8人以上の著者	Kayser-Jones, J. (1996). Mealtime in nursing homes: The importance of individualized care. <i>Journal of Gerontological Nursing</i> , 22(3), 26-31. Wolchik, S. A., Wast, S. G., Sandler, I. N., Term, J., Coatsworth, D., Lergua, L., ... Griffin, W. A. (2006). Reducing parenting stress in families with irritable Infants. <i>Nursing Research</i> , 55(3), 198-205.
●書籍	著者名(発行西暦年). 書名. 版数, 発行地(欧文の場合), 出版社名, 引用頁.
和文献	<例> 安田三郎, 海野道郎(1977). 社会統計学. 改訂2版, 丸善, 5-10.
欧文献	<例> Marrell, T. M. (2005). Hospice and Palliative Care Handbook. 2 nd ed, St. Louis, Mosby, 22-24.
●書籍の章(一部)	著者名(発行西暦年). 章のタイトル. 編集者名(編), 書名(章の該当頁). 発行地(欧文の場合): 出版社名.
和文献	<例> 工藤禎子(2003). 高齢者の看護の場の特性と社会資源. 小玉敏江, 亀井智子(編著), 高齢者看護学(pp. 109-127). 医学書院.
欧文献	<ul style="list-style-type: none"> 欧文の場合は、編著の前にInを書く。 編集者は全員掲載し、イニシャルと姓の順で表示する。 編集者名の後に(Ed.)をつけ、複数の編集者がいる場合には(Eds.)とする。 <例> Knodel, J. (1993). The Design and Analysis of Focus Group Studies: A Practical Approach. In D. L. Morgan. (Ed.), Successful Focus Groups: Advancing the States of the Art (pp. 35-50). Newbury Park, CA: Sage Publications.
●翻訳書	原著者名(原書発行年) / 訳者名(訳書発行年). 翻訳書名. 版数, 出版社名, 頁-頁.
	<例> Lazarus, R. S., & Folkman, S. (1984) / 本明寛(訳)(2000). ストレスの心理学—認知的評価と対処の研究. 実務教育出版, 30-32.
●電子資料(インターネットからの引用)	作者名(発行年). Webタイトル. <アドレス(URL)> [アクセスした日時].
	<ul style="list-style-type: none"> 発行年は、引用する資料や論文等が作成された年(月日)が明示されている場合に記載する。 Webページは削除されることがあるので、資料は印字して保存しておくこと。 <例> Walker, J. (1996). APA-style citations of electronic sources. <http://www.cas.usf.edu/english/walker/apa.html> [1997, April 29]. 指宿信(2000). ネット文献の引用方法について: 学術資源としてのネットの可能性. <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/compass-028.html> [2005, April 22].

7. 表と図

- 1) 表と図は必要最小限とし、重複を避ける。
- 2) 表は、一つずつ別紙に記す。表のタイトルは、表の上部に、表 1、表 2 のように番号をつけ、1 文字分のスペースをあけてから書く。
- 3) 図は、一つずつ別紙に記す。図のタイトルは、図の下部に、図 1、図 2 のように番号をつけ、1 文字分のスペースをあけてから書く。

<例> 表 1 対象者の属性



図 1 Mishel の病気の不確かさ認知モデル

— 文献 —

- APA(2001)/江藤裕之, 前田樹海, 田中建彦訳(2004). APA 論文作成マニュアル. 医学書院.
- 河野哲也(2002). レポート・論文の書き方入門. 第3版, 慶應義塾大学出版会.
- Oka Tomofumi(2003). 論文の書き方の基礎概念:論文書式マニュアル.
<<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/edu/writing/manual.pdf>> [2005, April 29].
- 執筆・投稿の手引き改訂委員会(編)(1991). 執筆・投稿の手引き 1991年版. 日本心理学会.
- 指宿信 (2000). ネット文献の引用方法について:学術資源としてのネットの可能性.
<<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/compass-028.html>> [2005, April 22].